



G・R・O

NPO法人くまがやピンクリボンの会

2025 年度 活動報告



第16回ピンクリボン・デー♡くまがや

星川エリアマネジメント共催

2025.10.11

【羽賀登喜子実行委員長あいさつ】

熊谷市制20周年を記念して、そして星川夜市様とのコラボで開催しています。そして初めて、この星川をピンクにライトアップします。

ピンクの光には、乳がんの早期発見・早期治療の大切さ、病と闘っている方、支えるご家族、そして亡くなられた方への祈り、“命を想う優しさ”のメッセージが込められています。

ピンクリボンの活動は、乳がんの正しい知識を広めるだけでなく、「誰かを想う優しさ」や「生きている幸せ」を分かち合う運動でもあります。さらに今年は、熊谷市内すべての中

学校16校の保健委員の皆さんが、命と健康への想いを込めたメッセージを届けてくれました。それぞれの学校で制作した“ルミナリエバック”が、今夜だけ星川の川沿いに並んでいます。ピンクの光と子どもたちの言葉が重なり、まるで熊谷全体がひとつになって、命を想い合う夜になります。

このように開催できましたのも、ご協賛・ご協力くださった企業や団体、学校、行政、地域の皆さまの支えがあってこそです。

心より感謝申し上げます。

今日のピンクの光が、皆さんの心にもあたたく、“明日への希望の光”となりますように。



SKY/Hiキッズダンス



SKY/Hiキッズダンス



熊谷商業高校バトン部

第16回 ピンクリボン・デー♡くまがや

市政20周年記念 星川夜市コラボ

星川イルミネーション

ピンクリボンライトアップ

10月は乳がん啓発のピンクに
11月は子宮頸がん啓発のディール&ホワイト(グリーン)にライトアップ

★点灯式★ 2025 10.11(土) 18:00 ライトアップ (6時) 星川通り

★点灯式当日はイベントが盛りだくさん! イベント会場 星川広場川床(木村屋さん側)

キャンドルナイト
18:00~21:00

熊谷市内全16中学校の生徒が書いたメッセージが光で浮かび上がるルミナリエバックが無料配布します。

SKY/Hi キッズダンス
18:45頃~

熊谷市内で20年以上続くダンススタジオ。生徒は5歳から社会人まで幅広く、プロダンサーも輩出。見学体験無料です!

フルート演奏
19:15頃~

岡村知幸子・田井みゆ子 フルーツデュオ
「ふ・り・あ・ん」「今生きていることへの感謝」をメロディに込めて奏でます!

富士見中学校保健委員
トークセッション 18:30頃~

生かすまで素晴らしい1年学校から広がる健康の力! 富士見中学校の保健委員みなさんと一緒に、「健康」「学校でできること」について語り合います。来賓を招き中学生の話を聞かせる。いっしょに考えてみませんか?

埼玉県立熊谷商業高等学校バトン部
ダンスパフォーマンス 19:00頃~

熊谷商業高校バトン部(Vipers)は創部56年。全国高等学校ダンス大会(全日本大会)で7年連続入賞。世界大会出場権を獲得。また、アスレチック大会でも優勝。熊谷商業高校の伝統を継承し、熊谷商業高校の発展に貢献しています。

御菓子司花屋
特製「おっぱいすんじゅう」数量限定販売

販売期間 10月1日(水)~31日(木)
熊谷市 熊谷 3丁目15-15 TEL.048-526-0121

フルーティスト田井みゆ子先生・岡村知幸子先生



星川イルミネーション設置の経費捻出のために、一口2万円の企業協賛を頂きました。



ボランティア部メンバーによる作業。星川にロープを張り、電球を一つずつ結び付けていく地道な作業。9月とはいえ星川の水は冷たかった~!



羽賀実行委員長・ピンクのジャケット小林市長、渋谷教育長、藤間代表



amahare studio代表秋山真紀氏

埼玉新聞社 丸山晃顧問



点灯式



スタッフ集合



富士見中学校保健委員



市内中学校校長・教頭先生



日本生命熊谷支社大和路支社長ご夫妻

埼玉信用金庫本店営業部 松村直子部長



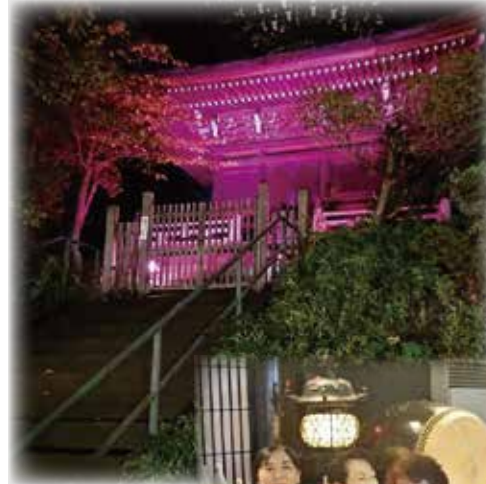
国宝 聖天山 貴惣門 & 平和の塔

ピンクリボンライトアップ

2025.10.1-10.31



聖天様・貴惣門



熊谷次郎直実公



忍城と富士山



熊谷駅正面口駅前広場膜シェルター



熊谷駅構内



加須市・騎西城しあわせを呼ぶライトアップ

加須市の角田市長にお招きいただき騎西城点灯式に参加して参りました。市民ファーストな角田市長の素晴らしい取り組みに感動しました。首長が理解を示し、実行に移して下さること、職員皆様のチームワーク、そして、市役所いきいき健康長寿課手作りのロゼッタもステキでした！



本庄市・埼玉北部ヤクルト販売株式会社

街なか啓発ライトアップ ピンクの灯りは「希望の光」



熊谷市平戸・ダスキン平戸支店

啓発ライトアップにご協力して下さる企業様、募集中！



乳がんは女性だけではなく、男性乳がんもあります。

熊谷市役所に啓発懸垂幕を寄付！

10 月世界的なピンクリボン月間、11 月子宮頸がん啓発月間に合わせ賛助会員皆様からの会費で作成しました。



熊谷市村岡・小林歯科医院

ルミナリエバッグ*星川イルミネーション

がん教育を受講した熊谷市内中学校16校の保健委員生徒さん200人が、がん患者と家族への温かいメッセージを書いて下さいました！



埼玉県初の「小中学生からのがん教育」は、平成26年度からスタートし13年目を迎えます。
熊谷市、行田市、越谷市、嵐山町、秩父市、吉見町委託事業、埼玉県内の小中高とPTA対象に各校に伺います！

いのち
あなたに伝えたい「**生命**の授業」 ～がん体験者が話すがん教育～

【2025 年度開催校一覧】		
地域	学校名	日程
上尾	尾山台小	7月14日
秩父	吉田中	7月15日
越谷	武蔵野中	9月4日
熊谷	大原中	9月5日
行田	南小	9月9日
行田	3校合同PTA	9月27日
熊谷	妻沼西中	9月29日
熊谷	熊谷東中	9月30日
行田	太田小	10月6日
熊谷	妻沼東中	10月7日
川越	霞が関東中	10月10日
行田	忍小	10月15日
嵐山	菅谷中	10月28日
嵐山	玉ノ岡中	10月28日
熊谷	別府小	10月29日
熊谷	長井小PTA	10月30日
吉見	西が丘小	10月30日
熊谷	籠原小	10月31日
熊谷	大里中	10月31日
熊谷	秦小	11月6日
美里	松久小	11月11日
熊谷	富士見中	11月12日
熊谷	別府中	11月17日
熊谷	三尻中	11月18日
秩父	高階中	11月19日
行田	南河原小	11月28日
熊谷	大幡中	12月3日
熊谷	新堀小	12月8日
熊谷	吉岡中	12月10日
川口	在家中	12月12日
越谷	富士中	12月18日
行田	西小	1月15日
熊谷	玉井中	1月16日
熊谷	奈良中	1月19日
熊谷	西小	1月20日
吉見	北小	2月9日
熊谷	南小PTA	2月10日
熊谷	熊谷東中PTA	2月13日
熊谷	中条中	2月16日
熊谷	江南中	2月17日
吉見	南小	3月3日
熊谷	荒川中	3月10日
熊谷	大麻生中	3月19日

【外部依頼】敬称略
*NPO法人子育てネットくまがや
*鎌倉女子大学
*熊谷薬剤師会「薬と健康フェア」
*神奈川県がん患者団体連合会

【大人のがん教育&乳がんセミナー】全国各地
*日本生命保険相互会社
*第一生命保険株式会社
*東レ土浦工場

日本人が一生のうちに「がん」になるのは2人に1人。がんは全ての人にとって身近な病気です。もしかしたら、あなたの身近にがん体験者がいるかもしれません。がんは正しく怖がる必要があります。早期発見、早期治療ならば必ず助かる生命があり、それには、子どものころからの正しい知識と正しい情報を選択する力が必要です。それを補うのが「がん教育」です。多くのがんは、生活習慣に気をつけることで予防できます。また、がん教育は「いじめ防止」や「自殺防止」に繋がっています。



アメリカ対がん協会から特別に提供してもらった「PU」(イブ)。乳がんの硬さ(かたさ)と大きさを表しています。授業中、イブに触れ、がんの大きさと硬さを体感し、しっかり覚えましょう。乳がんに限らずほとんどのがんは1cmになるのに約10年～30年かかります。ところが1cmから2cmになるにはわずか1年～2年で大きくなってしまいます。検診では5mmの大きさ(早期発見)で見つけることができます。*註：非常に早く大きくなるがんもまれにあります。

(出典：国立がんセンターがん対策情報センター、アメリカ対がん協会)



熊谷市立大原中学校小島樹樹校長先生と古池麻希先生



吉見町立北小学校保護者&先生方



川島町立つばさ南小学校児童からの感想文

秩父市立高篠中学校・小学校合同授業



保護者向け「フチ乳がんセミナー」を開催

秩父市での「がん教育」実現は、島崎株式会社様のご支援のおかげさまで。学校予算を取ることが厳しい状況の中で、年間を通し、嶋崎社長が費用を捻出して下さっています。島崎株式会社様は、インナーファッションのODM企業。下着「Fleepフリース」は特に乳がん術後の患者様に好評で、アトピーや敏感肌の方にも安心して身につけられる最高の下着です。ご多用の中、清野市長(熊谷高校OB)を始め教育委員会、保護者みなさまにお運びいただきました。児童生徒みなさん、本当に立派な授業態度で、笑いあり涙ありの50分間でした。校内も美しく、整理整頓され、こどもたちのあいさつもしっかりし、帰る際、男子生徒、女子生徒が「授業がとても良かったです。感動しました。ありがとうございました」と声をかけてくださり、胸が熱くなりました。飛川校長先生を始め、教職員皆様の日頃の教育指導の賜物だと思います。秩父市内で授業を始めて3年。5大がん検診受診率が確実に上がってきています。



保護者参観のある学校では児童生徒の授業終了後、「フチ乳がんセミナー」を開いています。



熊谷市立熊谷東中学校保護者のみなさま

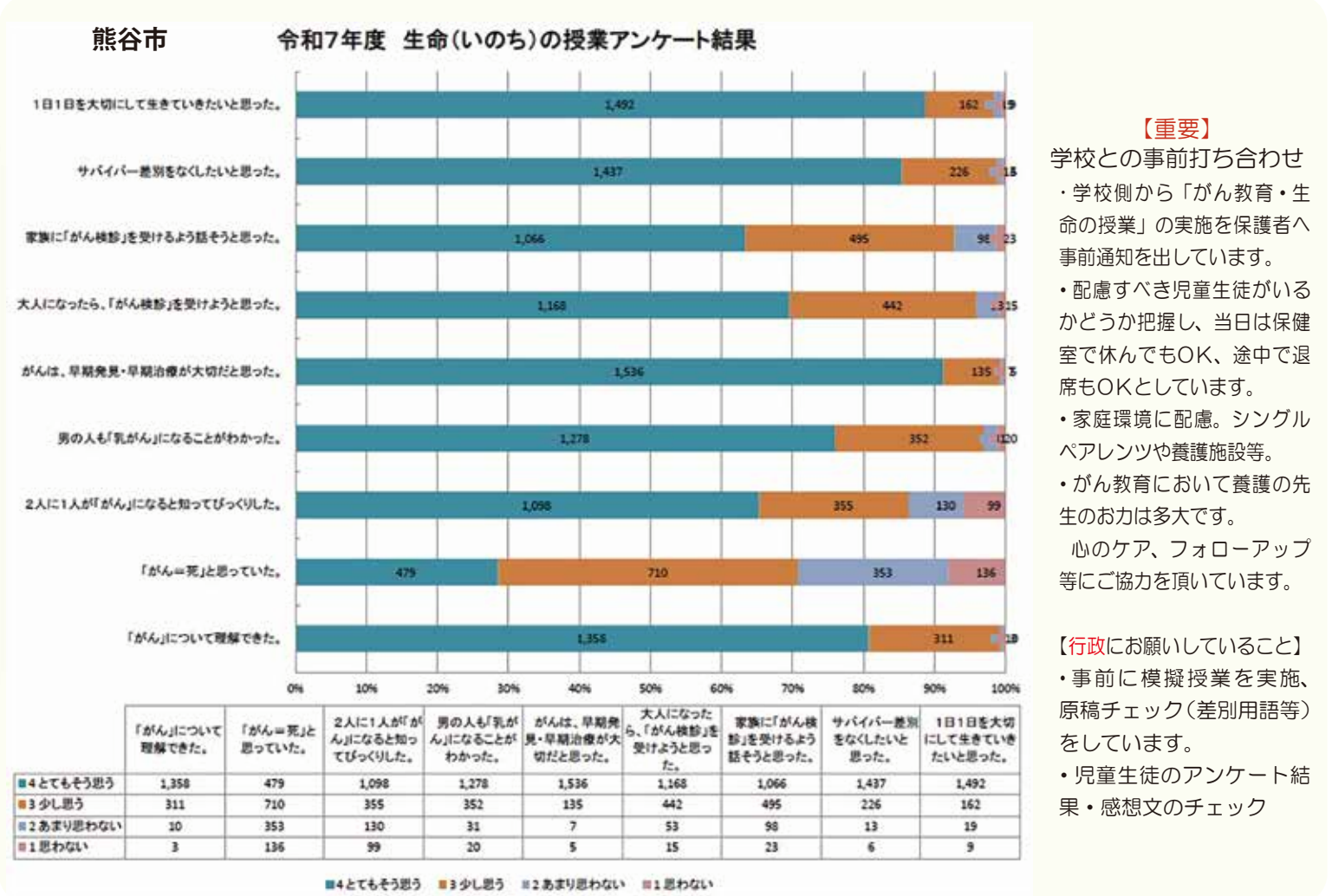


熊谷市立大麻生中学校保健委員

熊谷市立富士見中学校



熊谷市立富士見中学校保健委員の生徒たちとVcanの齋藤さん、矢作さん(中央)



サバイバー茶話会

参加費無料
熊谷市市民活動支援センター

リンパ浮腫勉強会



講師に、亀田京橋クリニック看護師の原浩子さんを招き、アシスタントは同会顧問カウンセラーの門倉紀子さんが務め、約2時間にわたり、症状の仕組みや対処法を学びました。

リンパ浮腫は、乳がんや子宮がんのほか、男性の前立腺がんなどの術後に起こります。リンパ液の流れが滞って腕や脚がむくむ病気。進行すると治りにくいため、早期発見が重要です。しかしながら病気の認知度が低く、専門的な治療を行う病院はほとんどないのが現状なのです。リンパ浮腫が起きる仕組み、受診のタイミング、傷の予防やスキンケアの方法のほか、体重増加も浮腫のリスクを高める要因になります。また、安心して日常を過ごすために日頃のケアと運動も大切として、タオルを使った運動療法などを学びました。

【日本臨床細胞学会】

子宮頸がんサバイバーの羽賀登喜子が登壇しました！

「検診も、身だしなみのひとつ。」
季節ごとに新しい洋服を選ぶように。
美容院で髪を整えるように。
自分を大切にする時間のひとつとして、定期的な検診を受けませんか？
健康でいることは、あなた自身のためだけでなく、大切な人のためにも。
定期的な検診で、未来の自分を守りましょう。
そして男性の皆さん！大切なパートナー、家族、友人の健康を守るために
HPVワクチンや検診について話してみませんか？HPVウイルスは、
男女ともに関係のあるウイルスです。
予防できる病気は予防しよう。
「検診とHPVワクチンで子宮頸がんは予防できます。」
私の経験が、誰かの「知るきっかけ」となり、未来を守る一助となることを願っています。

2025.6.30
京王プラザホテル
会長：田畑務先生
東京女子医科大学産婦
人科講座教授



追悼



熊谷次郎直実公ピンクリボンライトアップに貢献



ちいちゃん

6月27日熊谷薬剤師会フォーラムにて
タイトル「生きる」で登壇しました

がん体験者の皆さま、お気軽にお越しください。

がん種は問いません。現在、乳がん、子宮頸がん、
子宮がん、前立腺がん、肺がん、脳腫瘍、悪性リンパ腫、
胃がん、肉腫、甲状腺がん、中咽頭がん、大腸がん、
白血病等の方々が参加されています。



080-8908-2108 くまがやピンクリボンの会
奇数月・第2木曜日
偶数月・第2土曜日

サバイバー茶話会は、がん患者とそのご家族が集う場となっています。毎月、定期的に熊谷市市民活動支援センター等で開催しています。BEC乳がん体験者コーディネーター、ピンクリボンアドバイザー、がん哲学外来コーディネーターなどの資格を取得した運営委員がピアサポーターとして茶話会の担当をしています。ピアサポートの「ピア」とは「仲間」という意味です。がん患者さんやご家族の方の不安や心配ごとを、同じ立場で聴いたり、体験を話したり。気持ちを共有することで、「ひとりじゃない」と安心感を得ることができます。先輩サバイバー（がん体験者）も温かく、頼もしく接して下さり笑顔の花が咲きます。安心してお越しください。



あみあみの会・編み物をしながらおしゃべり

日本産婦人科医会第47回性教育指導セミナー全国大会

2025年7月26日～27日・大宮ソニックシティ
大会会長平田善康先生(埼玉産婦人科医会長、平田クリニック院長)の肝いりの大会で、平田先生の情熱とスーパーリーダーシップに約1年間の準備期間を経ての開催でした。

座長：防衛医大教授の高野政志先生、羽賀登喜子
基調講演「チームで取組むがん教育～熊谷市の取組～」
熊谷市立富士見中学校 養護教諭 根岸幸代
講演1「乳がんについて正しく伝え女性の未来を守りたい」
埼玉石心会病院 副院長 乳腺内分泌外科部長 児玉ひとみ先生
講演2「子宮頸がん予防とHPV ワクチンと検診の役割」
日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野 主任教授川名敬先生
指定発言：栗原和江「サバイバーの勇気がみんなの希望につながる」
指定発言：羽賀登喜子「子宮頸がんが教えてくれたこと」



日本女医会埼玉県支部研修

2026年2月15日（日）
埼玉県支部長の大川みどり先生からお声がけ
頂き、熊谷市俵瀬出身の公許女医第1号荻野
吟子記念館へ笠原、栗原が出席しました。

第32回日本乳癌学会学術総会

2024年7月11日～13日
京王プラザホテルで開催されました。

第23回日本臨床腫瘍学術集会

2026年3月26日27日
オンライン受講しました。

ピンクリボン支援



花蔵様（三谷ヒサ子会長・三谷愛社長）は2008年5月の弊会発足以来、長年に亘り年間を通し多大なるご支援を頂いています。
埼玉県内10店舗、行田市に本社のあるクリニカルエステ花蔵では、お顔の不調やお悩みを無料カウンセリングしています。お気軽にご相談ください。

花蔵本社
行田市門井町2丁目2番地20
花蔵メディカルクリニック
院長 梁太一先生

島崎株式会社



嶋崎博之代表取締役社長は、秩父地方に「がん教育」を普及させたいと毎年ご支援を頂いています。
「フリープ」は、驚くくらいストレスフリーな下着で、乳がん術後、アトピー性皮膚炎、乾燥肌などお肌のトラブルを抱えた方におすすめです。

埼玉県秩父市道生町15-20
TEL：0494-22-2535
東京営業所
新宿区神楽坂5-8 恵比寿亭ビル202号
TEL：03-3267-1075

おっぱいまんじゅう 10月1日～31日限定販売



和菓子司 花蔵
店主高橋隆氏、功典氏
埼玉県熊谷市中西3丁目15-15
☎048-526-0121
営業時間 10:00～18:00 月曜定休

慈げん・かき氷

店主・宇田川和孝氏
こだわりの会員制かき氷店
熊谷市宮町2-95 間庭ビル1F
※情報はX (Twitter)
弊会創立以来、支援くださっています。



N cafe

代表：鈴木菜水子氏
https://ncafenana.stores.jp/



日常の一杯のコーヒータイムで応援したい人の想いを
繋ぎたい” そんなコンセプトで始まりました。

くまがやピンクリボンの会 沿革

2008 年	5 月	市民活動団体として「くまがやピンクリボンの会」設立
2008 年	10 月	東京ピンクリボンウォークに参加（以降毎年参加）日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本臨床腫瘍学会、がん哲学外来、リレー・フォー・ライフ、K S H S 全国大会等に出席（年 1 回）
2010 年	10 月	第 1 回ピンクリボンデー in くまがやを開催（以降毎年開催）
2014 年	6 月	埼玉県初のがん教育サバイバーが話す「生命（いのち）の授業」を開始
2015 年	6 月	がん教育委託事業となる熊谷市、行田市、越谷市、嵐山町等
2016 年	10 月	L I N E スタンプ「マンマちゃん」登場 販売開始
2017 年	10 月	行田市忍城ピンクリボンライトアップ（以降毎年）
2017 年	9 月	ニューヨーク研修（理事・運営委員 5 人参加） 埼玉新聞 5 回連載記事
2017 年 10 月 1 日 ～ 2018 年 1 月 5 日		熊谷駅正面口階段アート「検診でつながる命」 熊谷市に乳がん啓発懸垂幕を寄付（以降毎年 10 月市役所に設置）
2018 年	9 月	第 10 回記念大会は国宝聖天様をライトアップ（以降毎年）
2019 年	9 月	条例第 23 号・熊谷市がん対策推進条例
2019 年	10 月	熊谷駅前ピンクリボンライトアップ（以降毎年）
2019 年	12 月	「埼玉県人会善行賞」「第 63 回埼玉公衆衛生大会団体賞」
2021 年	12 月	ホームページを一新
2022 年	5 月	A Y A 世代支部スタート
2023 年	4 月	熊谷市 がん患者へ アピアランスケア「ウィッグ助成金」スタート
2023 年	9 月	熊谷市 子宮頸がん HPV ワクチン男子へ助成金スタート 埼玉県初 ※「2 価、4 価のみ」
2026 年	4 月	熊谷市 子宮頸がん HPV ワクチン男子「9 価」助成金スタート

「ピンクリボン・デー in くまがや」の歩み archive 2010－2025

第1回 平成22年10月17日(日) 講演会 演題：「乳がんの予防と治療」 講師：遠藤 正人 先生 (熊谷総合病院外科部長・乳がん認定医)	第2回 平成 23 年 10 月 30 日 (日) 講演会 演題：「乳がんの予防と治療」 講師：山下 純男 先生 (深谷赤十字病院 外科部長)	第3回 平成 24 年 10 月 21 日 (日) 講演会 演題：「乳がんの予防と治療」 講師：山下 純男 先生 (こくさいじクリニック院長)	第4回 平成 25 年 10 月 20 日 (日) 講演会 演題：「がんとお金の話」 講師：黒田 尚子 先生 (FP・CNJ 認定乳がん体験者コーディネーター)
第 5 回・記念大会 平成26年12月7日(日) 講演会 演題：「ママが生きた証」 講師：小松 武幸 先生(放送作家) 演題：「キレイは生きる力になる」 講師：山崎 多賀子 先生(美容ジャーナリスト)	第6回 平成 27 年 9 月 23 日 (水・祝) 講演会 演題：「乳がんになっても赤ちゃんがほしい」 講師：赤坂 友紀 先生 (NPO 法人キャンサーネットジャパン認定 乳がん体験者コーディネーター)	第7回 平成 28 年 10 月 30 日 (日) 講演会 演題：「マンモで見つからない乳がんを救う」 講師：増田 美加 先生 (女性医療ジャーナリスト)	第8回 平成 29 年 10 月 21 日 (土) 講演会 演題：「乳がんと生きる～31歳でがんを経験して～」 講師：御松 美絵 先生 (NPO 法人キャンサーネットジャパン認定 乳がん体験者コーディネーター)
第9回 平成 30 年 10 月 28 日 (日) 講演会 演題：「乳がんってなあに？」 講師：矢形 寛 先生 (埼玉医科大学総合医療センタープレストケア科 教授 ・ NPO 法人埼玉乳がん臨床研究グループ 副理事 ・埼玉乳がん検診検討会 代表 世話人)	第10回 くまがや記念大会 令和元年 10 月 1 日 (火) 国宝 聖天山 貴惣門＆平和の塔 ピンクリボンライトアップ	第11回 令和 2 年 10 月 1 日 (木) 国宝 聖天山 貴惣門＆平和の塔 ピンクリボンライトアップ	第12回 令和 3 年 10 月 1 日 (金) 国宝 聖天山 貴惣門＆平和の塔 ピンクリボンライトアップ
第13 回 令和 4 年 10 月 1 日 (土) 国宝 聖天山 貴惣門＆平和の塔 ピンクリボンライトアップ	第14 回 令和 5 年 10 月 1 日 (日) 国宝 聖天山 貴惣門＆平和の塔 ピンクリボンライトアップ	第15 回 令和 6 年 10 月 5 日 (土) 国宝 聖天山 貴惣門＆平和の塔 ピンクリボンライトアップ	第16 回 令和 7 年 10 月 11 日 (土) 市政 20 周年記念 星川夜市コラボ 星川イルミネーション ピンクリボンライトアップ

ぶれない思いを繋いでいきたい。支え合う気持ちがつながる元気に！検診率 100%を目指して！

共同代表 栗原和江ごあいさつ（乳がんサバイバー）

◆くまがやピンクリボンの会を立ち上げたのが2008年月、設立から丸18年が経ちました。弊会の大きな柱のひとつが「がん検診受診率」のアップです。わが町熊谷市では、令和5年乳がん30人・子宮頸がん8人、大腸がん95人、胃がん61人、肺がん130人の熊谷市民が命を落としています。年間では、約600人もの市民が「がん」で命を落としている現状があります。2019年9月、熊谷市に「条例第23号熊谷市がん対策推進条例」を制定して頂きましたが、残念ながらがん患者は増え続けています。「2人に1人が、がん」に罹患する」現役世代こそ知っておくべき情報を届けたい。他人事ではなく、自分事として考えてもらいたいです。13年目を迎えた児童生徒へのがん教育「生命の授業」「大人のがん教育」にもスタッフ一丸となり、これからも取り組んで参ります。医療は日進月歩です。医療情報に関わる私たちは常に正しい知識も持たねばなりません。各種学会に出席し、自己研鑽にも勤めて参ります。弊会はがん検診の受診行動への後押し、早期発見早期治療のすすめ、そして、サバイバー支援を継続し、がんで悲しむ家族やみなさんがひとりでも減ることを願ってやみません。◆私が乳癌に罹患した2007年、熊谷市の乳がん検診受診率はたった7.5%でした。検診に行かずに、しこりを自身で見つけたことを反省し、弊会の立ち上げを地元荒川中学校の先輩・後輩に相談し、啓発目的の市民団体として7人からスタートしました。毎年、少しづつ賛助会員様がご支援と協力をくださり、なんといいっても良き仲間たちが賛同し、集まってくれました。手前味噌で恐縮ですが、弊会はそんなチームワーク、チームプレーが自慢です。おかげさまで、ようやく共同代表を羽賀登喜子氏が引き受けてくれました。「どんな形であれ、がん啓発団体の役割を繋げていきたい、この町で切れ目のない啓発活動をしたい」の一心でした。半分、肩の荷が折れた今、次への目標に向かい準備をしまいたします。

NPO 法人くまがやピンクリボンの会 顧問医・顧問薬剤師・顧問カウンセラー 紹介			
亀田メディカルセンター (千葉県鴨川市、東京都中央区京橋)	乳腺科 主任部長 ・福岡 英祐 先生	埼玉医科大学国際医療センター(日高市) 乳腺腫瘍診療部長・教授 ・大崎 昭彦 先生	こくさいじクリニック院長(深谷市) ・山下 純男 先生
乳腺科・病理 乳腺病理部長 埼玉医科大学総合医療センタープレストケア科教授 NPO 法人埼玉乳がん臨床研究グループ名管理理事長 ・黒住 昌史 先生	乳腺科部長、形成外科(乳房再建) ・浅野 裕子 先生	埼玉医科大学総合医療センター(川越市) ・堤 晴彦 先生	たけうちクリニック院長(鴻巣市) ・竹内 幾也 先生
	リンパ浮腫センター長 ・林 明辰 先生	熊谷総合病院理事長(熊谷市) ・中村 信一 先生	羽生総合病院院長(羽生市) ・松本 裕史 先生
			平田クリニック (熊谷市) ・中山 政美 先生
			川越プレストクリニック院長(川越市) ・山田 博文 先生
			顧問薬剤師 トミオカ薬局 (熊谷市) ・富岡 伸夫 先生
			がん専門カウンセラー・ 抗がん剤看護スペシャリスト 看護師・ナラティブハート代表 ・門倉 紀子

今年もこんなに多くの企業、お店、そして個人のみなさまが啓発活動を応援して下さいます。

●賛助会員 (敬称略・順不同)

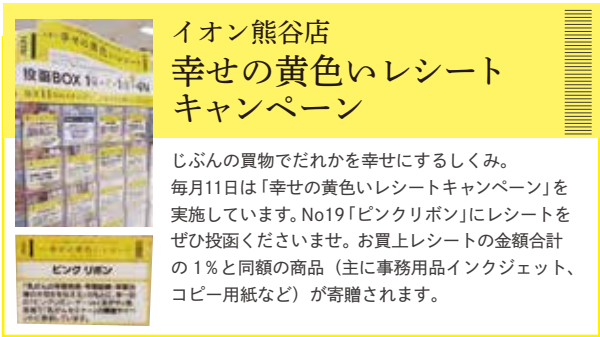
(一社) 熊谷市医師会、(一社) 行田市医師会、(一社) 鴻巣市医師会、(一社) 熊谷市歯科医師会、(一社) 熊谷薬剤師会、クリニカルエステ花蔵、島崎株式会社 (医) うぶごえ会ティアラ21 女性クリニック、社会医療法人 熊谷総合病院、(医) 同愛会 熊谷外科病院、医療生協さいたま熊谷生協病院、医療法人藤和会 藤岡病院 医療法人いのクリニック、(医) 三療会たけうちクリニック、医療法人 こくさいじクリニック、川越プレストクリニック、医療法人 川島会 川島胃腸科 埼玉医科大学国際医療センター大崎昭彦教授、医療法人徳洲会 羽生総合病院、(医) トーデンタルクリニック市川歯科、小林歯科医院(村岡)、埼玉ひまわり法律事務所 野口英明法律事務所、大石壮労士事務所大石聡一、(一社) 熊谷青年会議所、熊谷商工会議所女性会、(公社) 熊谷法人会熊谷支部女性部会、学校法人立正大学学園 高崎ターミナルビル(株) アズ熊谷、八木橋百貨店、(株) 梅林堂、石山商工株式会社、(株) オキナヤ、ダスキン平戸支店、(株) 岡部工務店、(株) クジライ(株) 近江屋酒店、ゴトーグループ、光和空調(株)、(株) 木島陸連、(株) 深谷カーボン、(株) 中島水道、山本商事(株)、(株) サンエルホーム、慈げん株式会社トミオカ薬局、(有) デイ葬儀社、(株) 清水アーネット、深谷電機(株)、(株) ピアプランニング、(株) 野沢銘木店、埼玉北部ヤクルト販売(株) ショコラティエ・アヌーク、(株) 田代マネージメントサービス、原靖税理士事務所、オリエント鍼灸院、(株) 藍造園、はっかいグループ、小さなホテル セラヴィ 飯島経営グループ代表飯島賢二、(株) アシスト、(株) 馬車道、S M I L E、山光化学(株)、第一生命保険株式会社熊谷支社 日本生命保険相互会社熊谷支社、カゴハラゴルフクラブ、東日本メディコム株式会社、(株) 埼玉住宅情報センター、聖天山歓喜院、最明寺

●個人会員 金子知佳子、濱子幸子、日向美津江、篠田悦子、小林弘子、橋本昌代、金井義弘、宇田川彰穂、西田智邦、大橋理容室、赤沼令子、石田ヒサ子、林秀子、高山晴子、飯塚和子、森芳子 白石幸枝、根岸公、佐藤和代、須藤千代子、齊藤洋子、長谷川君子、森禮子、内田藤子、市川景子、逸見きよの、堀越文子、原口征子、内野担子、岡田麗子、真下八重子 久保田アサ、橋上静枝、石川久子、森恵子、須藤節子、山川美津子、塚田ひろ子、三間富美子、鈴木春子、森田志津子、森和子、荻野婦美子、谷鹿千恵子、村松茂明、植野智恵子 長谷川勝子、松島恭子、坂田久恵、前山ミチ子、栗田久江、小久保光子、今井洋子、青木幸子、中島由美子、富井節子、重竹淳一、矢田米子、渡辺佐和子、加藤恵子、加藤悦子 駒宮淳子、小澤真理子、神澤弥生、中条智恵子、横塚静江、西崎、小野澤啓子、神岡理恵子、永谷由紀枝、吉田澄子、岩切良子、松本実紀、早川郁子、新井尚子、平原佐和、馬場洋尚 齋藤君江、高橋京子、真下八重子、清水綾子、菊地好江、黒澤みずす、稲村香里、上野裕美、劇団ダウト松尾伊津江、鈴木菜美子、時田芳文、木村明美、矢形康代 Paul M.Faford、Emiko K.Faford、栗原俊介、栗原佳代子、栗原亮太、栗原彰

◆全国のピンクリボン連携団体 NPO 法人乳がん画像診断ネットワーク、一般社団法人 KSHS 乳がん体験者の会（キチンと手術・ホッペで再建の会）、NPO 法人 Pink-CareBreast ピンクケアブレスト、SHARE 日本語プログラム代表プロディー愛子（ニューヨーク在住日本人乳がん・卵巣がん患者支援）、Caval(サヴァ)～さいたまBEC～、乳がんを体験した方だけのヨガクラス NYOGA(によが)、ピンクリボンの会きとも、吉川ピンクリボンの会、若年性乳がんサポートコミュニティPink Ring、乳がん体験者の会 アイビー千葉(旧:あけぼの会千葉支部)、BCバド Smile(乳がん体験者バドミントン練習会)、乳がん体験者の会 マリアリボン(聖マリアンナ医科大学病院)、日本肺がん患者連絡協議会長谷川一男代表、NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ小野木陽一、カンパニー de カンパニー、認定 NPO 法人乳房健康研究会

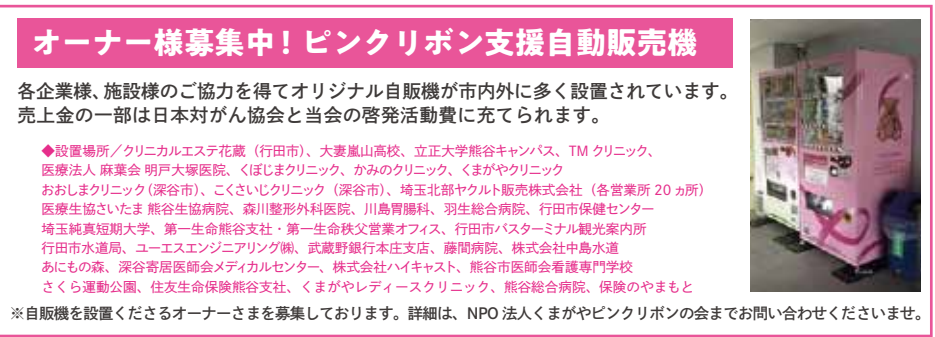
●協力 国宝妻沼聖天山鈴木英全院主、鈴木英秀副任職、妻沼レディース、NPO 法人 Care nation、大和屋敷、株式会社クジライ、武四勝電気西田勝、黒澤茂、富田栄、権田悟、FM カマガヤ、熊谷駅 ●スペシャルサンクス 日本生命保険相互会社熊谷支社、日本生命保険相互会社各支社、第一生命保険株式会社熊谷支社、第一生命労働組合熊谷営業職支部、俳句・千野風来子、グリーフケア福井 山崎純子

●後援 熊谷市・熊谷市教育委員会



イオン熊谷店
幸せの黄色いレシート
キャンペーン

じぶんの買物でだれかを幸せにするしくみ。
毎月11日は「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施しています。No.19「ピンクリボン」にレシートをぜひ投函くださいませ。お買上レシートの金額合計の1%と同額の商品（主に事務用品インクジェット、コピー用紙など）が寄贈されます。



オーナー様募集中！ピンクリボン支援自動販売機

各企業様、施設様のご協力を得てオリジナル自販機が市内外に多く設置されています。売上金の一部は日本対がん協会と当会の啓発活動費に充てられます。

◆設置場所／クリニカルエステ花蔵（行田市）、大妻嵐山高校、立正大学熊谷キャンパス、TM クリニック、医療法人 麻薬会 明戸大塚医院、くぼいまクリニック、かみのクリニック、くまがやクリニック おおしまクリニック(深谷市)、こくさいじクリニック（深谷市）、埼玉北部ヤクルト販売株式会社（各営業所 20 か所）医療生協さいたま 熊谷生協病院、森川整形外科医院、川島胃腸科、羽生総合病院、行田市保健センター 埼玉純真短期大学、第一生命熊谷支社・第一生命秩父営業オフィス、行田市バスターミナル観光案内所 行田市水道局、ユースエエンジニアリング㈱、武蔵野銀行本庄支店、藤岡病院、株式会社熊谷中島水道 おにもの森、深谷寄居医師会メディカルセンター、株式会社ハベキャスト、熊谷市医師会看護専門学校 さくら運動公園、住友生命保険熊谷支社、くまがやレディースクリニック、熊谷総合病院、保険のやまもと

※自販機を設置くださるオーナーさまを募集しております。詳細は、NPO 法人くまがやピンクリボンの会までお問い合わせくださいませ。

ブレスト・アウェアネスについて



女性自身が乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することを「ブレスト・アウェアネス」（乳房を意識する生活習慣）といいます。これは乳がんの早期発見・診断・治療につながる、女性にとって非常に重要な生活習慣です。

また、乳がん検診で精密検査の必要がないと判定された場合でも、しこりや血性の乳頭分泌などの自覚症状がある場合は、放置せずに速やかに医療機関を受診することが重要です。

毎月
19日は
ピンクの日

このような時だからこそ、「ブレスト・アウェアネス」の啓発が重要であり
以下の4つのポイントを実践するよう掘げましょう。

①

自分の乳房の状態を知る

②

乳房の変化に気をつける

③

変化に気づいたら
すぐ医師に相談する

④

40歳になったら2年に1回
乳がん検診を受ける

熊谷市役所

子宮頸がん啓発 ティールブルーリボンバルーンゲート設置

進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

毎年11月は「子宮頸がん啓発月間」です。

熊谷市役所にテーマカラーの「ティールブルーバルーンゲート」を設置しました。

現在、日本人女性の20代～30代では3人に1人が子宮頸がんを発症しています。

弊会活動の大きな柱のひとつが「がん検診受診率」のアップです。

熊谷市の子宮頸がん検診受診率は16.8%。これは埼玉県内63市町の中で12番目という上位になります。お隣の深谷市は12.4%で35番目、行田市は5.9%で61番目、東松山市は5.9%で62番目となります。

小林哲也市長就任以来、熊谷市の「がん対策」は加速度的に充実しています。

埼玉県初（10万人以上の行政では全国初）の男子への子宮頸がんワクチン接種助成金は2026年から始まりました。

がん教育授業では毎年、年間で約3000人の子ども達から感想文を頂いています。その中で

「僕もHPVワクチンを打ちたい」（小学生男子）

「なぜ女子だけしか打てないのか」「するい」「差別だ」（小中学生男子）

「男子もHPVワクチンを接種できることを知らなかった」（保護者）

「男子の接種費用が高く、経済的負担が大きい」

「副反応ばかりが報道されていて不安。正しい情報を知りたい」

こうした生の声をしっかり吸い上げ政策にしてくださったのです。

HPVワクチンは、子宮頸がんを防ぐだけではなく、男性の肛門がん、陰茎がんの

ほか、喉頭がん、咽頭がん、口腔がんも同時に予防ができます。

子どもたちの生の声を吸い上げ、英断くださいました小林市長はじめ

母子健康センター、保健センター職員みなさまに感謝しています。



左から笠原、栗原、教育委員会金井先生、三友前教育次長、健康づくり課笠木前課長、保健センター長谷川前副センター長、羽賀

熊谷市がん患者への支援制度

アピアランスケア用品購入費助成事業

*ウィッグ（部分用、頭皮保護用ネット含む）、帽子（毛つきのもの）

*補正具：補正下着（パットも含む）、エビテーゼ・人工乳房（乳房再建術は除く）、人工乳頭等

*造血幹細胞移植後ワクチン再接種補助

*AYA世代（15～39歳）がん患者の在宅療養支援

*治療と仕事の両立支援等



ゲート作製 バルーンアーティスト小島真理子氏

ご支援ください

NPO 法人くまがやピンクリボンの会の活動は個人、団体の皆様のご寄付により支えられています。わたしたちのミッション、ビジョンを実現するため、多くの皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

賛助会員募集中

〈企業・団体様〉

1口 10,000 円／年

〈個人様〉

1口 3,000 円／年

〈サバイバー（がん患者）〉

1口 1,000 円／年

払込先名称

【NPO 法人くまがやピンクリボンの会】

【ゆうちょ銀行から】

・預金種目／普通預金

・記号／10350・番号／79926201

【他金融機関から】

・店名／〇三八（ゼロサンハチ）

・店番／038・預金種目／普通預金

・口座番号／7992620

【振替口座への振込】

・口座記号番号／0120-9-729356

NPO 法人くまがやピンクリボンの会 役員

【共同代表理事】栗原和江 羽賀登喜子

【副代表理事・監事】井出徹

【理事】笠原洋子 大崎幸恵 家永宏美

【運営委員】酒井真由美 笠松典子 高橋真澄

小林和代 内田晴美 佐高友恵 本澤久美子

関口弥生 小川知里 佐藤瞳 松本実紀

松尾菜々海 中尾知子 関澤明子 加藤恵子

◆E-mail : kumagaya.pinkribbon@gmail.com

◆ホームページ [NPO 法人くまがやピンクリボンの会](https://www.facebook.com/pinkribbonkumagaya) 検索

◆Facebook : <https://www.facebook.com/pinkribbonkumagaya>